

# はじめに

奈良市は、平城京へ都が遷されてから1300年間、先人たちにより、悠久の時をつなぎ、文化遺産と自然環境をたゆまぬ努力により守り伝えてきました。また、様々な日本文化の源流でもあり、現代につながる日本人の心のふるさとです。

そして、東大寺や春日山原始林等の8資産群が「古都奈良の文化財」として、世界遺産に登録された歴史的文化遺産や自然環境と共生する、世界でも稀にみる歴史都市です。

私たちはこれからも、この豊かな環境を後世にまで継承していかなければなりません。

しかし、今日私たちが豊かさや快適さを追い求めた結果、大気汚染や水質汚濁など、地球規模で深刻な環境問題を抱えてしまいました。

今日の環境問題を解決するためには、できることから少しずつ、一人ひとりが環境にやさしい取り組みについて考え、行動する必要があります。

本市では平成21年3月には環境教育基本方針を策定し、持続可能な社会の実現に向けて、一人ひとりが環境問題を学び、自主的に行動を実践する人づくりを目指しており、環境保全の輪を広げていくことが重要となっています。また、新たな環境分野の指針となる環境基本計画の策定にむけて取り組んでいます。

本書は、本市の環境の保全と創造に関する施策についてまとめたものです。皆様の環境問題への取り組みや環境保全活動の一助になれば幸いです。

平成22年12月

奈良市長 仲川 げん